

第2回審議会委員意見概要

- 一般職給与の累積改定率を用いて知事・副知事の給与改定を行うことはやむを得ない。
- 議員については、若い人が立候補しうるよう、据え置きとの判断もあるのではないだろうか。
- 知事の25%の特例減額幅は大きい。
県財政再建の実績等もある。
カットを無くしてもよいのでは。
- 特別職の報酬については、現状維持でよいのでは。
- 一般職の給与水準が下がって、特別職の報酬は変わらないというのは県民から見てどうなのかということもある。
- 特例減額をなくした上で、一般職給与と連動させ、3.02%減額しても良いのでは。
- 現行のカットは大きすぎるのでいくらか見直しをしたらどうか。